

2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 4 月 23 日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	宮田大輔
研究課題	離散アルゴリズムの応用的研究				
研究キーワード	n-king problem, 数え上げ	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	該当なし	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>日本の伝統的ボードゲームである将棋に関して、互いに効きのない駒の配置の数え上げに関する研究を行った。N×Nの盤上にN個の竜王を置く配置に関して、回転対称および対角線対称な配置の個数を数え上げる公式（母関数および漸化式）を得た。この結果は現在未発表であるが、論文として投稿準備中である。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】 なし</p> <p>【著書・論文（査読なし）】 なし</p> <p>【学会発表等】 なし</p> <p>3. 主な経費</p> <p>主として、研究に必要な書籍の購入にあてた。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>基盤研究（C）：令和2年度～令和4年度、分担、課題名「情報基礎教育における実践を通じた理論獲得のモデルに関する研究」（20K03102）</p> <p style="text-align: right;">（本文は2ページ以内にまとめること）</p>					